

令和6年度 学習の指針(シラバス)

野田市立第一中学校

◎学年(3)学年

◎教科(英語)

使用教科書	東京書籍 NEW HORIZON ENGLISH COURSE 3		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点をとらえることができる。 2 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれたまとまりのある文章の要点をとらえることができる。 3 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。 4 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。 5 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。 		
学習計画	前期	4月 2年時までの復習(受動態、比較) 5月 現在完了形(経験用法)、make+(代)名詞+形容詞、SVOO(that節) 6月 現在完了形(完了用法、継続用法)、現在完了進行形 7月 不定詞の発展用法(it is... (for+(人など))+to+動詞の原形、want+(人など)+動詞の原形、let[help]+(人など)+動詞の原形 9月 “My Activity Report”、“A Mother’s Lullaby”	
	後期	10月 間接疑問文、現在分詞・過去分詞を使った名詞の修飾 11月 名詞を修飾する文(接触節)、関係代名詞(主格・目的格) 12月 “Discover Japan” 1月 仮定法(I wish ... / If+主語+were ..., ~.) 入試対策等 2月 “Let’s Have a Mini Debate” 入試対策等	
主な活動形態や使用教材など	<p>【主な活動形態】 個人活動、ペアワーク、グループワーク *ねらい、内容に応じて適切な形態をとり、活動します。</p> <p>【主な使用教材】 デジタル機器(デジタル教科書、eラーニング教材等)、ノート、ワークなど *ねらい、内容に応じてより効果的な活用方法を選択していきます。</p>		
評価の観点 別内容や評価の方法	観点	評価の内容	評価の方法
	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能が身についているか。	・定期テスト ・単語テスト ・授業観察 等
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができるか。	・定期テスト ・パフォーマンステスト ・コミュニケーション活動 ・授業観察 等
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしているか。	・パフォーマンステスト ・コミュニケーション活動 ・振り返りシート ・提出物・授業観察 等
学習についてのアドバイス	<p>【授業では】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業では、間違いを恐れず積極的に英語を使いましょう。 ・ペアワークやグループワークでは、仲間と協力して、意欲的に取り組みましょう。 ・「聞く」「読む」「話す」「書く」の4つの技能をバランスよく習得するために、一つひとつの活動において、特にどの技能に重点を置いているかを意識しましょう。 ・わからないことがあったら、その日のうちに先生や友達に聞いて解決しておきましょう。 <p>【家庭では】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容は、その日のうちに復習しておきましょう。 ・単語や本文を何度も読んだり、ノートに繰り返し書いたりすることで、書く力を身につけていきましょう。発音しながら書くのが効果的です。毎日短時間でも、続けることです。 ・英語は「積み重ねの教科」と言われています。ある単元が理解できないとその上に積み上がる単元も必然的にわからなくなってしまう。英語が苦手だと感じている人は、過去の単元にさかのぼって復習しましょう。 ・学習者用デジタル教科書や教科書のQRコード等は家庭でも活用できるので、ぜひ取り組んでください。 		

